



成果目標 空港及び集落への時間短縮を図る。

アウトカム指標の算定方法 短縮率 = 整備済み路線の走行短縮時間 ÷ 現況道路の走行時間 × 100

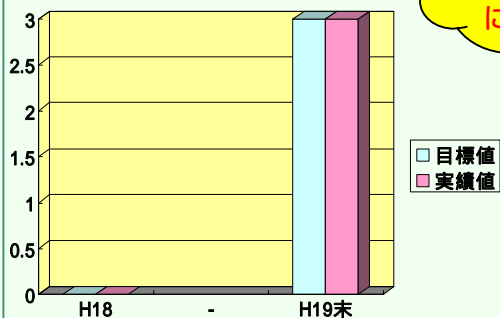
●整備目的

車両の走行性と安全性を確保することにより、空港及び地域間の時間的距離の短縮を図ります。

- ・ 橋梁架替え・・・老朽及び隘路区間の解消
- ・ 現道の拡幅・・・隘路区間及び連続カーブの解消

アウトカム指標	現況値 H18当初	中間目標	最終目標 H19末
目標値	0		3
実績値	0		3

アウトカム指標の推移



地域によっては
未だこのような
道路状況
にあります。



●整備達成状況

事業が概ね順調に進捗し、平成19年度末の最終目標を達成することができました。 H19末【目標】3% 【実績】3%

達成!

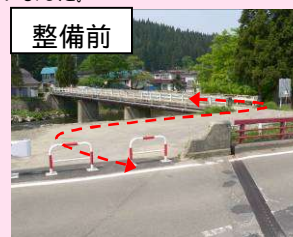
完成事業の紹介

平里線

当路線に架かる橋梁は、老朽化が進んでいる上に幅員が狭く、普通車と自転車とのすれ違いも困難な状況でした。また、対向車は交互通行のため、待ち時間が必要でした。



狭隘な直角カーブが連続し、走行性及び安全性に問題がありました。大型車は他の道路を迂回していました。



平里集落～県道比内森吉線・市道小又五味堀線交差点：
整備前(市道平里巻淵線経由) 2.1分 整備後 1.8分 (0.3分短縮)

◆今後の方針

未だ、幹線道路や他地域へのアクセスに利便性を欠く狭隘な生活道路を抱える地域があり、今後も路線の重要性（ネットワーク構築、交通量等）や現道の状況（幅員、路面状況等）に応じて整備を推進し、走行性及び安全性の向上を図っていきます。また、幹線道路整備により、都市との交流・連携の核となる空港と地域間のアクセスを強化し、物流の効率化と空港1時間圏の拡大等による、地域活性化を目指します。